

国際観光振興について

平成21年6月

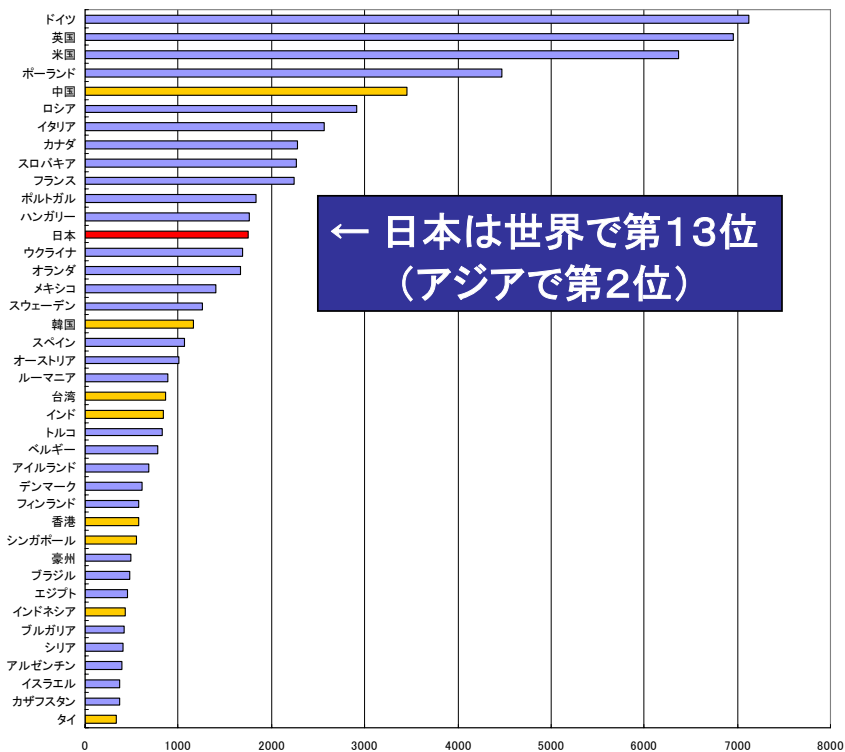
国土交通省 観光庁

観光地域振興部 観光資源課

主要国における出入国旅行者数国際ランキング

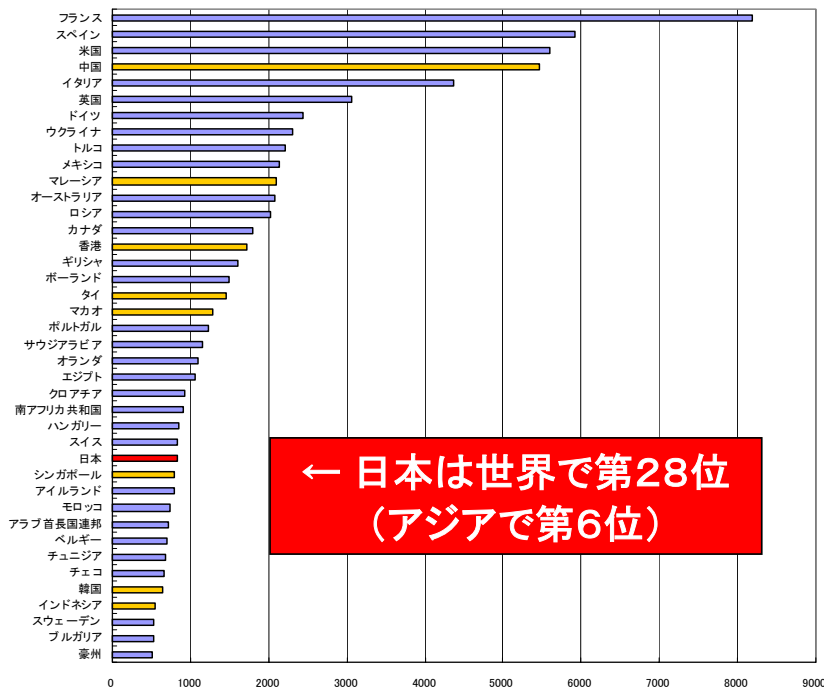
我が国は出国旅行者数(アウトバウンド)に比べて入国旅行者数(インバウンド)が少ない

出国旅行者数国際ランキング(2006年)
(アウトバウンド)



← 日本は世界で第13位
(アジアで第2位)

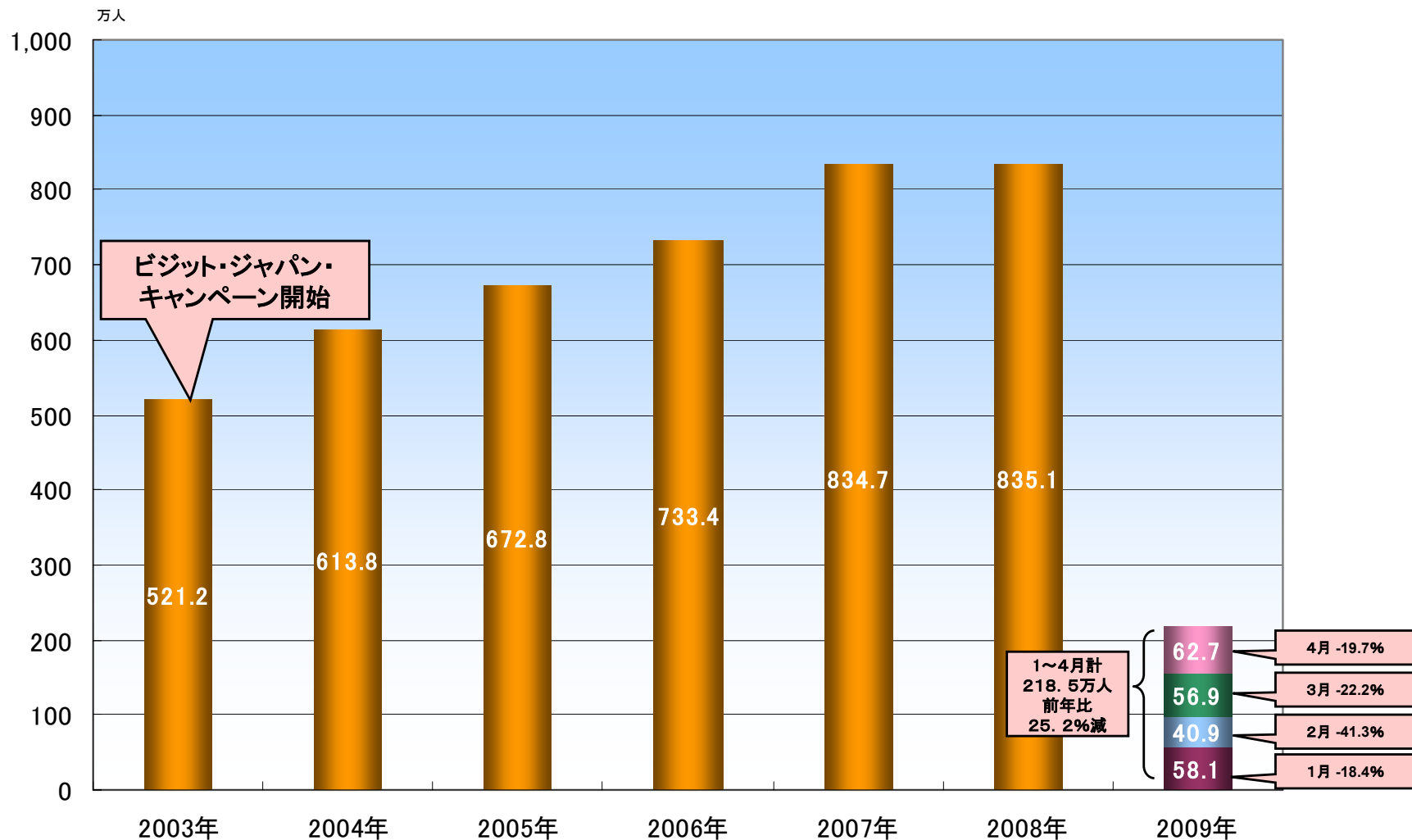
外国人旅行者受入数国際ランキング(2007年)
(インバウンド)



← 日本は世界で第28位
(アジアで第6位)

※ロシア、ギリシャ、アイルランド、アラブ首長国連邦、豪州については、2006年の数字を掲載。(万人)

訪日外国人旅行者数の推移

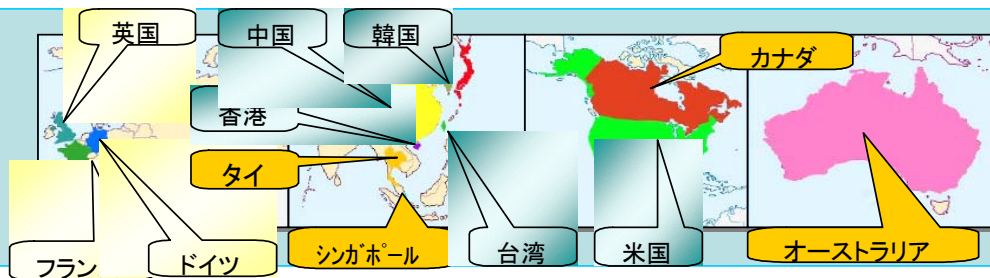


2010年までに訪日外国人旅行者数を1,000万人にするとの目標に向け、重点12市場を対象に、我が国の観光魅力を発信するとともに、日本への魅力的な旅行商品の造成等を支援するビジット・ジャパン・キャンペーンを官民一体で推進。

重点市場

訪日旅行者数の多い12の国・地域

※このほか、有望新興市場(インド、ロシア、マレーシア)において調査を実施
(2009年度からフィリピン・インドネシア・イタリア・スペイン・ベトナム・メキシコ・GCC諸国においても調査に着手。)



認知度向上事業

我が国の観光魅力を発信するための事業

- 海外メディアの日本への招請、取材支援
- 海外のTVCM等による広告宣伝
- WEBサイトによる情報発信
- 海外の旅行博覧会等への日本ブース出展



香港・メディア招請事業 (仙台・2008年8月)



フランス・日仏観光交流年バス車体広告 (2008年3月)

誘客事業

魅力的な訪日旅行商品の造成・販売支援や、青少年交流の拡大に向けた事業

- 海外旅行会社の日本への招請、商談会の実施
- 訪日旅行商品の共同広告
- 訪日教育旅行の誘致



シンガポール・訪日教育旅行セミナー (2008年8月)

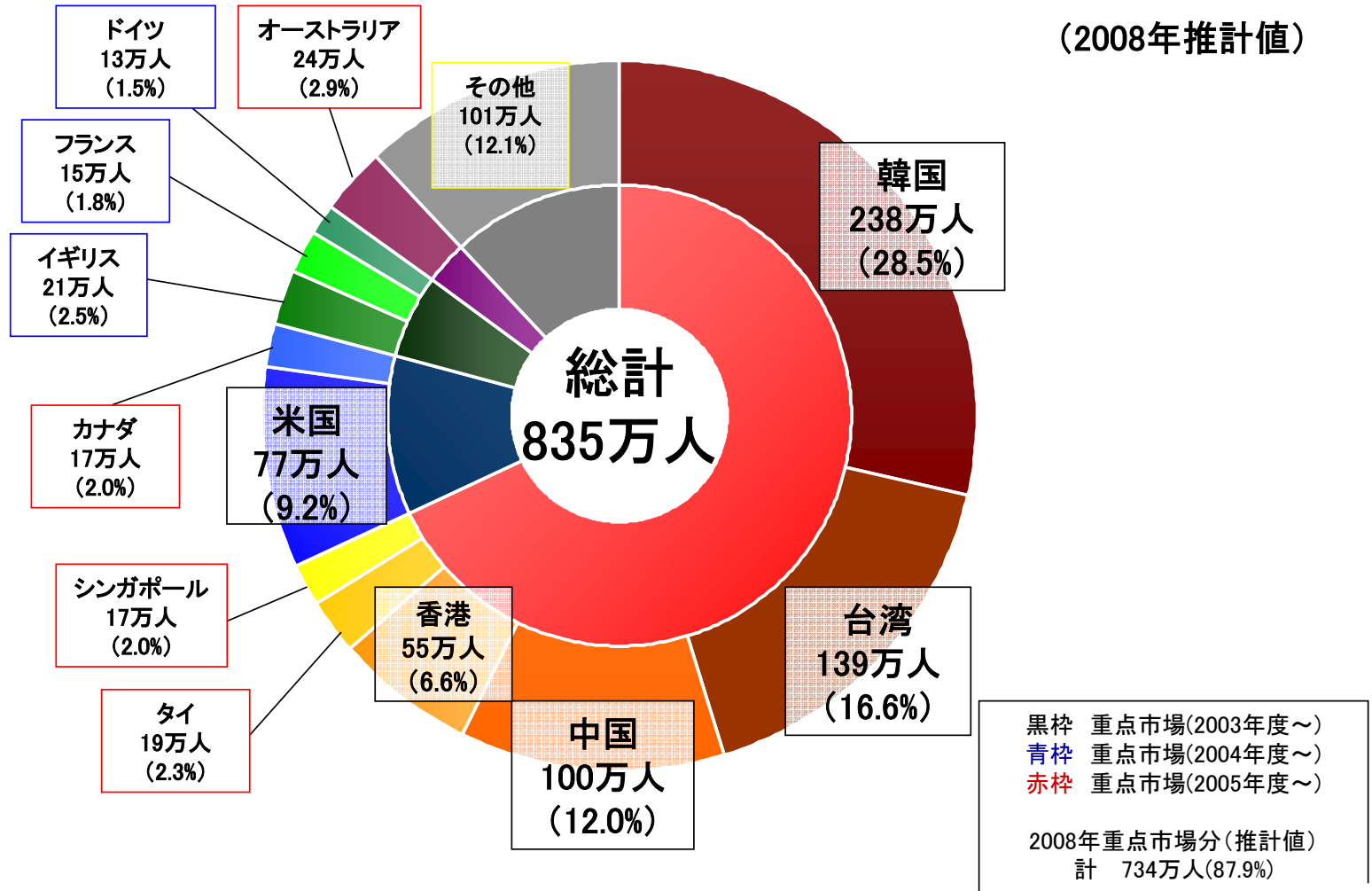


大規模商談会・YOKOSO! JAPAN
トラベルマート(2008年10月)

*上記の事業を地域と共同で実施する場合には、国は総費用の1/2を上限に地域(自治体・民間等)と連携。
(ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業)

国・地域別訪日外国人旅行者数の割合

(2008年推計値)



■ 中国からの訪日観光については、2000年の団体観光ビザ解禁の後、発給対象地域を段階的に拡大し、2005年以降は中国全土を対象。2008年3月より家族観光ビザの発給（試行）を開始。

【団体観光ビザの概要】

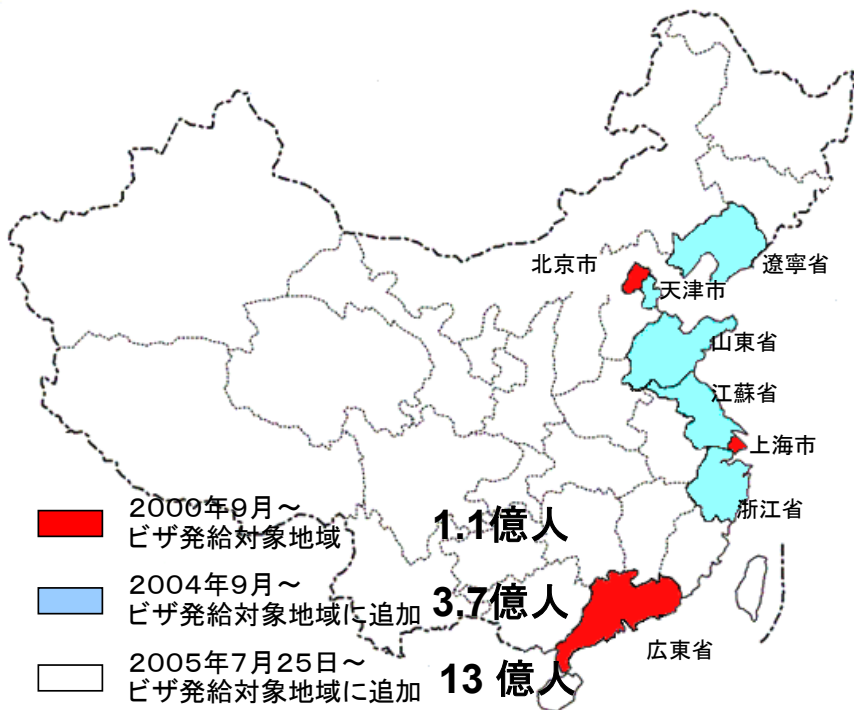
【対象者】中国全土の国民（所得要件なし）
 【人数】5名以上概ね40名以下（中国側添乗員を含む）
 【添乗員】日本側及び中国側旅行会社各1名（計2名）

【家族観光ビザの概要】

【対象者】十分な経済力を有する者とその家族（三親等以内の血族・姻族）
 【人数】2名又は3名だけの少人数旅行（中国側添乗員は含まず）
 【添乗員】日本側及び中国側旅行会社各1名（計2名）
 【実施時期】2008年3月～
 6ヶ月間の施行期間後に必要な見直しを行う

<参考> 訪日中国人旅行者数（2008年）

総数	約100.1万人（JNTO調べ）
うち団体観光	約32.3万人（観光庁調べ）
家族観光	6組16人（在中国公館におけるビザ発給実績）



【考え方】

十分な経済力を有する者を対象とする「個人観光ビザ」の創設(1人でも発給可)

【手続き】

日本側旅行会社の身元保証を得た上で、中国側旅行会社を通じてビザ発給を申請

【添乗員】

なし

【失踪防止策】

失踪者発生の場合に日本側及び中国側の旅行会社に課されるペナルティ(一定期間の取扱い停止措置)を団体・家族観光よりも強化

【実施時期】

在外公館の体制整備を図りつつ平成21年7月から北京、上海、広州の公館において試行開始。平成22年夏から中国全土に拡大(本格実施)。

「2020に訪日外国人旅行者2000万人」の目標設定も含めた中長期課題の検討

観光立国推進戦略会議(座長:牛尾治朗(株)ウシオ電機会長)において、「観光庁は、関係省庁と連携して、観光立国に係る中長期的な戦略、特にインバウンドに係る中長期的戦略(2020年に2千万人を目標)を策定するべき。」と提言。観光立国推進戦略会議のワーキンググループにおいて必要な検討を開始。観光立国推進戦略会議のワーキンググループでの検討を経て、3月13日の観光立国推進戦略会議で「訪日外国人2,000万人時代の実現へ」が取りまとめられた。

2000万人時代の訪日客の状況

○宿泊客のおよそ6人に1人は外国人(2007年は、およそ14人に1人)

○旅行消費額の外国人割合 2006年5.8% → 2020年16.3%

現在のアメリカ(14.3%)を超え、イギリス(18.1%)、ドイツ(17.0%)に迫る。

◆2000万人達成時には訪日外国人旅行者の旅行消費額が4.3兆円、直接雇用効果が39万人となると推測。

※ 2006年の旅行消費額は1.4兆円



2000万人を見据えた海外プロモーション戦略やハード・ソフト双方の総合的な受入環境の整備について検討

YŌKOSO! JAPAN大使の任命(成功者を活用した人材の育成)

1. 趣旨

外国人旅行者の受け入れ態勢に関する「仕組み」の構築や外国人に対する日本の魅力の「発信」に貢献された方々をYŌKOSO! JAPAN大使として任命

2. YŌKOSO! JAPAN大使の任命

平成21年2月までに39名を任命
平成22年までに100名程度を任命する予定

3. 期待される効果

- ・これまでの活動実績を讃えることを通して今後の活動に対するご本人の意欲を改めて喚起。
- ・インバウンド促進に関する「お手本」としての教育的効果。
- ・訪日外国人を顧客として捉えるという「気づき」を与え、訪日促進の諸活動の裾野をさらに広げていく。

<p>アレックス・カー氏(米) 【(株)庵 取締役会長】【東洋文化研究者】 景観保存や京都の町屋再生に取り組み日本文化を体感できる観光資源創出に貢献</p>		<p>クルト・キュブリ(スイス) 【高野山無量光院役僧】 仏・独・英・伊の各語で、高野山の魅力を紹介</p>	
<p>安斎 隆 氏 【(株)セブン銀行代表取締役社長】 海外発行カードで日本円をキャッシングできる旅行環境を整備</p>		<p>小柳 淳 氏 【小田急電鉄(株)執行役員CSR・広報部長】 鉄道事業者として外客向け案内所開設や個人用パック商品造成を推進</p>	
<p>岡田 邦彦 氏 【(株)松坂屋取締役会長】 案内等百貨店内を多言語化し外国人旅行者のショッピング環境を整備</p>		<p>コシノ ジュンコ 氏 【ファッションデザイナー】 鈴木 弘之 氏 【プロデューサー】 「和」のイメージを体現したファッションを通じて日本を広く海外に発信</p>	
<p>甲斐 賢一 氏 【ホテル風月HAMMOND代表取締役社長】 地域ぐるみの外貨両替、外国人宿泊統計整備により別府での外客受入れを推進</p>		<p>飛田 克夫 氏 【旅館浅草指月社長】【ジャパニーズ・イン・グループ会長】 英語による情報発信を通じ、外国人旅行者の安価な常宿を提供</p>	

YŌKOSO! JAPAN大使の任命(成功者を活用した人材の育成)

<p>鳥本 政雄 氏 【(株)加賀屋専務取締役 営業本部長】 能登を中心とする広域観光ルートを設定し台湾からの誘客を推進</p>		<p>山崎 まゆみ 氏 【文筆家】 露天温泉を海外に紹介し日本の温泉文化を海外にアピール</p>	
<p>服部 祐子 氏 【パリ日仏文化センターエスパス服部 代表取締役】 私営の日仏文化センターで日本文化を紹介し仏国における訪日促進に貢献</p>		<p>横江 友則 氏 【(株)スルッとKANSAI代表取締役専務】 乗り放題チケットを海外展開し外国人旅行者が交通機関を利用しやすい環境を整備</p>	
<p>マーティン・バロウ氏(英) 【Japan Society副会長】 執筆活動により日本をPRし英国における訪日促進に貢献</p>		<p>李 容淑 氏(韓国) 【(株)リンカイ代表取締役】 韓国からのインバウンドツアーを促進し営利を超えた日韓の理解増進に貢献</p>	
<p>政所 利子氏 【(株)玄代表取締役】 使いやすいガイドブック制作や日本文化を体験できるワークショップ開催を推進</p>		<p>ルーク・ハッフオード氏(豪) 【ニセコビレッジ(株)支配人】 ニセコやふらのの通年リゾート化・国際的リゾート化を推進</p>	

YŌKOSO! JAPAN大使の任命(成功者を活用した人材の育成)

<p>天野 一夫 氏 【(社)日本観光協会参与】 中部圏における広域連携を図るための組織を立ち上げインバウンドに貢献</p>		<p>シャウエッカー ステファン 氏(スイス) 【ジャパングイド(株)代表取締役】 WEBを通じて日本の観光魅力の紹介に貢献</p>	
<p>安藤 エリザベス 氏(米) 【食文化ジャーナリスト】【日本異文化交流コンサルタント】 米国において日本食を紹介した日本食ブームの火付け役</p>		<p>波木 恵美 氏 【NPO法人鬼怒川・川治温泉観光協会訪日外国人誘致委員会委員長】【鬼怒川グランドホテル夢の季 専務取締役】 組織的なインバウンド誘致活動を積極的に行い外国人宿泊客増に貢献</p>	
<p>桐谷 エリザベス 氏(米) 【フリージャーナリスト】【NHKアナウンサー】 米国を中心に日本文化の魅力、日本の良さを海外に発信</p>		<p>西村 紘一 氏 【Prime Travel & Tour, Pte. Ltd. 代表取締役社長】 シンガポールにおける北海道観光、ドライブブームの火付け役</p>	
<p>栗坂 芳郎 氏 【(株)AHN専務取締役営業本部長】 アジアからの外客誘致に取り組むホテル営業マンの先駆け</p>		<p>毛 丹青 氏(中国) 【作家】 中国人から見た日本を紹介し日中文化交流に貢献</p>	
<p>佐藤 博康 氏 【松本大学教授】 番組制作アドバイス・出演を通じ、世界各国の若者に日本文化の紹介</p>		<p>村山 正弘 氏 【(有)GINGAインターナショナル代表取締役】 外国からの誘客を通して得た知識等を情報発信し、観光振興に貢献</p>	

YŌKOSO! JAPAN大使の任命(成功者を活用した人材の育成)

<p>足立 隆則 氏 【(財)足立美術館理事長・館長】 日本庭園を通じた日本文化の発信と訪日外国人を対象とした受入環境の整備</p>		<p>滝 久雄 氏 【(株)ぐるなび取締役会長・創業者】 飲食店検索サイトを多言語で運営、日本の食文化の魅力を海外へ発信</p>	
<p>市田 ひろみ 氏 【服飾評論家】 きものを中心とした日本文化の情報発信</p>		<p>辻村 聖子 氏 【(社)日本観光通訳協会副会長】 通訳案内士の育成、通訳案内士制度の普及促進に貢献</p>	
<p>木村 和雅 氏 【京都シルク(株)代表取締役】 外国人の喜ぶ日本のお土産の開発を通して日本の魅力を発信</p>		<p>中村 裕 氏 【(株)ロイヤルパークホテル取締役会長】【日本ホテル協会会長】 ホテルと地域との連携による受入体制整備、外国人利用者の利便性向上</p>	
<p>孔 怡 氏(中国) 【テレビ・ラジオパーソナリティ】【国際文化交流アドバイザー】 テレビ・ラジオを通じて日本観光の情報発信、アジア観光客の受入体制整備</p>		<p>別所 哲也 氏 【俳優】【ショートショート フィルムフェスティバル代表】 ショートフィルムを通じた文化交流と誘客に貢献</p>	
<p>後藤 典生 氏 【圓徳院住職】【高台寺執事】 京都の寺社の新鮮な取り組み、日本文化やもてなし「和」の魅力情報発信</p>		<p>見並 陽一 氏 【東日本旅客鉄道(株)常務取締役】 空港駅での外国人旅行センターの設置や商品の開発による旅行環境の整備</p>	
<p>高橋 正美 氏 【富士箱根ゲストハウス代表】 「出会い、ふれあい、学び合い」を重視した外国人観光客の受入れを推進</p>		<p>矢幡 聡子 氏 【CORE S LTD.代表取締役】 テレビ、雑誌等のメディアやイベントを通じ国際交流を促進</p>	

YŌKOSO! JAPAN大使の任命(成功者を活用した人材の育成)

<p>宇崎 逸聡 氏 【サン・バイ・サンワークス(有) 代表取締役】 映画を活用した日本の魅力の発信と訪日外国人誘客促進</p>		<p>ベスライバー 氏(米) 【米国Frommer's Guide執筆者】 20年以上に渡り米国のガイドブックで日本の情報を発信</p>	
<p>温 翠蘋 氏(台湾) 【女優】 海外のテレビ番組を通じた北海道の魅力発信</p>		<p>ベルナール デルマス 氏(仏) 【日本ミシュランタイヤ(株) 代表取締役社長】 世界的に有名なガイドブックの発刊により、日本の魅力を世界に発信</p>	
<p>趙 誠夏 氏(韓国) 【東亜日報スポーツレジャー部局長】 韓国日刊紙を通じた訪日スキー・文化体験を目的とした訪日旅行の振興</p>		<p>町 孝 氏 【九州旅客鉄道(株) 取締役 鉄道事業本部営業部長・旅行事業本部長】 九州における受入体制整備を進め、韓国からの誘客促進に貢献</p>	
<p>辻村 由佳 氏 【(財)国際観光サービスセンター 成田国際空港外国人観光案内所 所長】 外国人観光案内所での対応を通じた旅行環境の整備</p>		<p>松山 大耕 氏 【妙心寺退蔵院 副住職】 禅の心を通じた日本文化の発信、外国人観光客受入体制の整備に貢献</p>	
<p>福武 総一郎 氏 【(株)ベネッセコーポレーション 代表取締役会長兼CEO】 地域の資源や魅力を活用したアートプロジェクトによる訪日促進</p>		<p>リム ジョージ 氏(シンガポール) 【Ishikawa Communications Managing Director】 無料情報誌の発行により、日本への旅行者送客に貢献</p>	